

管理運営状況評価書【対象年度:平成22年度】

課名 農 林 課

施設名	遠州南部とうもんの里総合案内所						
条例名	遠州南部とうもんの里 総合案内所条例						
施設設置目的	遠州南部地域の農村文化及び観光資源の総合的な情報提供並びに地域の活性化を図る						
指定管理者名	特定非営利活動法人 とうもんの会						
指定期間	平成19年4月1日から平成24年3月31日まで						
自主事業の有無	有り(事業費4,000千円)						
指定事業の有無	有り(事業費 千円) 研修室の貸出業務						
使用料制・利用料金制の別	使用料制						
決算状況等 (単位:千円)		H18	H19	H20	H21	H22	備考 詳細 様式 2-2
	指定管理料(A)		7,829	8,678	8,678	8,505	
	施設利用料(B)		15	37	27	27	
	差引(B-A)	0	△ 7,814	△ 8,641	△ 8,651	△ 8,478	
事業報告書	有り(法第244条の2第7項による義務付け)						
利用者満足度調査等実施の有無	有り						
評 価	評価内容	結 果			改 善 策		
	1 施設運営目的の達成度	<p>農村文化の情報発信は、8月日本橋三越で行われた全土連主催「水土里体験展2010」にて、全国を代表し「十内んものがたり」のミュージカルを上演した。</p> <p>また、地域の食文化伝承を目的に、県緊急雇用創出事業の採択を得て、2名の雇用と「とうもんの魅力発見!食編・くらし編」の2冊を発行、各方面から好評を得ている。</p> <p>遠鉄パンビツアー「大根づくし」を実施し観光事業に取り組んだ。</p> <p>地域の活性化については、各種団体の体験・講座利用増や、朝採り市の出荷者・利用者の増からも、効果は上がっている。</p>			<p>情報発信については、HPIに最新情報を載せるよう変更。ペーパー物についても「とうもん日和」を毎月発行し充実を図る。</p> <p>観光資源については、ツアー会社に様々なメニューを提案。3件の実施予定。</p> <p>地域の活性化は、地域以外の利用者があてにしてくれる施設になっている現状をみると交流・経済の拠点として、プログラムの内容をさらに検討精査することで、効果は上がるものと考え。</p>		
	2 利用者満足度	<p>利用者の増加に伴い、いつも清潔な施設管理を目指し清掃業務の回数を増やした結果、「いつも、きれいなトイレですね。」と言われるようになった。</p> <p>地域農業の活性化のための朝採り市も、出荷者の増加に伴い荷ぞろえも充実、消費者の満足につながり、生産者・消費者がともに地域の環境と農地を守る活動も順調な広がりを見せている。</p> <p>体験・講座については、感想をいつも書いてもらうようにしており、担当者だけでなく毎月行われる全体会で、会員全員が共有し、利用者の満足度向上に努めている。</p>			<p>アンケートの実施はもとより、新メニューの拡充で利用者満足度を図る。</p>		
	3 効率的な運営	<p>県の施設利用計画に対し21年度は、129・2%でしたが体験加工室のみ、59・7%であったため、講座の内容等を変更した結果87.3%に向上。</p> <p>生産者・消費者の意向調査により、朝採り市の開催を週末3日に決定したが、学校給食・漬物業者への納入が増え、生産者の意識向上効果もあり今後の拡充を目指して平日の人員を確保、管理業務を兼任することによって、人件費の削減を図った。</p>			<p>食文化の伝承のため、とうもんの里食文化研究会を設立。プロと楽しむ食講座・食文化を味わう会・食加工講座で加工室の利用を図る。</p> <p>企業のフレックス制の導入で、朝採り市の開催も平日を視野に入れ、生産者との調整に入る。</p> <p>施設目的の達成を目指し、人員の適材適所と時間の適正化により人件費の削減を目指す。</p>		
4 その他の課題等	<p>築後5年を経過し、建築物・外構(殊に作土が悪く根が張らない樹木)の管理や利用者増によるランニングコストの増など管理費は減る要素がなく、グリーンバンクの助成金に頼るものの根本的解決までには至らない。</p>			<p>樹木に関しては、当初植えたものに関してはまったく成長しないので、中電の補助で花木の苗を頂き、植え込みをやめて花壇にするなどして対応。</p> <p>会員の出役によりコストを抑える。</p> <p>塗装・修理に関しては計画的に実施していく。</p> <p>節電を図り、LED電球の取り換えなど順次対応する。</p>			

様式2-2(使用料制施設用)

遠州南部とうもんの里総合案内所

<指定管理料内訳 (A)>

(単位:円)

区 分	H20決算	H21決算	H22決算	備 考
人 件 費	4,379,419	4,590,520	4,549,178	
委 託 料	1,544,782	1,335,814	1,306,681	
清掃業務	385,214	386,567	437,155	
公園管理業務	465,968	254,597	211,676	
浄化槽管理業務	189,810	212,910	190,810	
防火設備保守事業	63,000	63,000	75,600	
防犯警備事業	163,800	177,450	150,150	
POS管理保守事業	276,990	241,290	241,290	
印 刷 費	373,920	259,131	320,801	
通 信 費	410,506	282,845	410,665	
修 繕 費	325,095	86,840	136,500	
消 耗 品 費	102,713	117,430	93,128	
保 守 点 検 費	16230	16125	25130	水質検査・法定検査
借 上 料	-	-		
光 熱 水 費	1,262,684	1,343,746	1,298,680	
燃 料 費	-	-		
保 険 料	-	-		
そ の 他	262,651	645,549	364,237	
合 計	8,678,000	8,678,000	8,505,000	

<施設利用料 (B)>

(単位:円)

区 分	H20決算	H21決算	H22決算	備 考
施設利用料収入	36,680	27,250	27,240	掛川市へ収入

<施設利用者数>

(単位:人)

区 分	H20決算	H21決算	H22決算	備 考
施設利用者数	47,303	71,706	84,438	